

出来る限り、以下の様式に沿った議事録を作成下さいますようお願いいたします。

(様式 2)

議事録番号

提出 2026 年 3 月 23 日

会合議事録

研究会名：角度分解非弾性散乱分光研究会

日 時：2026 年 3 月 18 日

場 所：名古屋大学 ES 総合館 2 階 ES023 および ZOOM

出席者：(議事録記載者に下線)

(現地) 乾雅祝 塩見淳一郎 萬條太俊 松村武 中埜彰俊 澤博 志賀拓磨
Anilkumar Chirag 福井宏之

(オンライン) Alfred Baron 櫻井吉晴 小池真司 松本崇博
Nagaraju Narayanam 木村耕治 山本健太郎 渡辺巖 筒井智嗣 中
島陽一 生田大穰 小島正道 石井悠衣 Jens Stelhorn
Yujun Zhang Nicolas de Souza 石川大介 黒澤昌志 増野いづみ
福田竜生 嶺潤子 小野晃生 鎮目邦彦 首藤靖幸

計 33 名

議題： meV-IXS を用いた研究成果や情報の共有 SPring-8-II アップグレード期間中の活動について 今後の研究ニーズや新規ユーザー開拓について 第 8 期研究会について

議事内容：

研究成果等の情報共有については、6 名の方にご講演いただいた(詳細は添付資料 1 参照のこと)。

SPring-8-II アップグレード期間中の会員の活動は「論文執筆・データ解析」が主で、続いて「国内外の他施設(放射光施設以外も含む)での実験」を行うとの動向であった。本研究会の活動に対しては「装置開発」に対する期待が多く、研究会内においてどのような装置や技術が必要かについて議論を深め、施設側にフィードバックしていくべきとの提案があった。SpRUC に対しては、「理論・シミュレーション研究者との交流」を促進していただきたいとの意見が多かった(添付資料 2 参照のこと)。

研究ニーズ開拓については、電子デバイスの熱管理において、フォノン物性の理

解が求められていることが挙げられた。特に、量子コンピューティングデバイス制御においては、極低温でのデバイス中でのフォノンの挙動を理解したいというニーズがあるとの意見があった。そのような実験が可能となる整備を進めてほしいとの要望があった。物理に詳しくない研究者にとって meV-IXS はハードルが高いと感じられがちであるが、未だ利用したことのない研究者は施設スタッフの手厚いサポートがあることを知らない。このことを周知する必要があるとの意見があった。研究会での内容は多岐にわたっているため、meV-IXS に興味を持っている研究者のリストを作成し、各分野に応じた個別の研修会・相談会などを並行して実施していくのが良いのではないかとの意見があった。

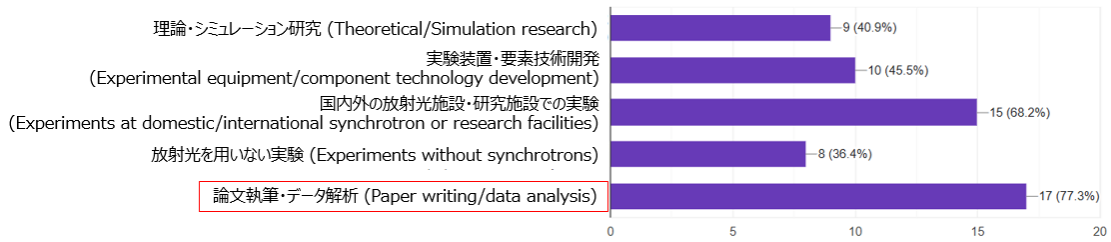
第 8 期研究会の代表として、現副代表の塩見氏が、新副代表として中島氏が就任することとなり、挨拶があった。

添付資料 1 研究会プログラム

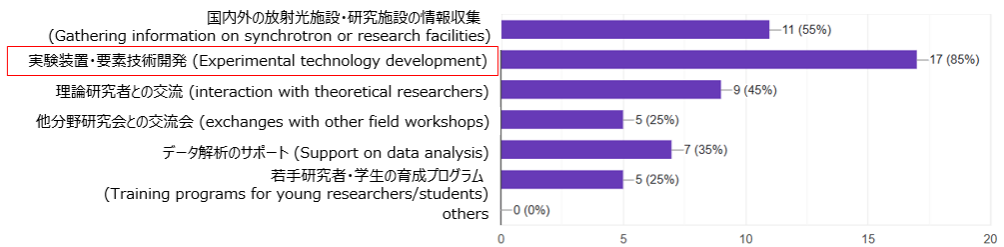
13:30	開会の言葉 / Opening remarks
13:35	Introduction to IXS and recent development at BL35XU 萬條太俊 (JASRI) / T. Manjo (JASRI)
14:05	非弾性X線散乱法によるFe合金の高圧下音波速度測定 Sound wave velocities of Fe alloys under high pressure by inelastic X-ray scattering 中島陽一 (熊本大学) / Y. Nakajima (Kumamoto Univ.)
14:35	休憩
14:45	局所反転対称性の欠如による正方晶磁性体CeCoSiの横波音響フォノンのソフト化と構造相転移 Acoustic phonon softening and lattice instability driven by on-site f-d hybridization in CeCoSi 松村 武 (広島大学) / T. Matsumura (Hiroshima Univ.)
15:15	X線非弾性で捉える励起子相におけるフォノン異常 Detection of Phonon Anomalies in Excitonic Phases by Inelastic X-ray Scattering 中埜 彰俊 (名古屋大学) / A. Nakano (Nagoya Univ.)
15:45	休憩
15:55	フォノン分散から見る機能材料の元素ドーピング効果 Insights into Element Doping Effects on Functional Materials from Phonon Dispersion 木村 耕治 (名古屋工業大学) / K. Kimura (Nagoya Inst. Tech.)
16:25	角度分解非弾性散乱分光研究会代表として4年間 4 years as Representative of meV-IXS group 乾 雅祝 (広島大学) / M. Inui (Hiroshima Univ.)
17:05	General Discussion
17:25	閉会の言葉 / Closing remarks

添付資料2 会員アンケート結果

SPring-8アップグレード期間中のmeV-IXSに関連するご自身の活動予定
Planned your activities related to meV-IXS activities during the SPring-8 upgrade period



アップグレード期間中に、meV-IXS研究会に期待する活動
Activities you expect for meV-IXS group during the upgrade period.



アップグレード期間中に、SpRUCに期待する活動の重要度
Importance of the following activities you expect from SpRUC during the upgrade period

